

# 【Pacificaシリーズ/SG1820シリーズ】Groverロックングチューナー弦交換方法

## <対象製品>

SG1820 / SG1820A / SG1802

PACIFICA311H / PACIFICA510V / PACIFICA611HFM / PACIFICA611VFM / PACIFICA612VIIFM

## ■弦の交換方法

\* 以下はPACIFICA611の例です。

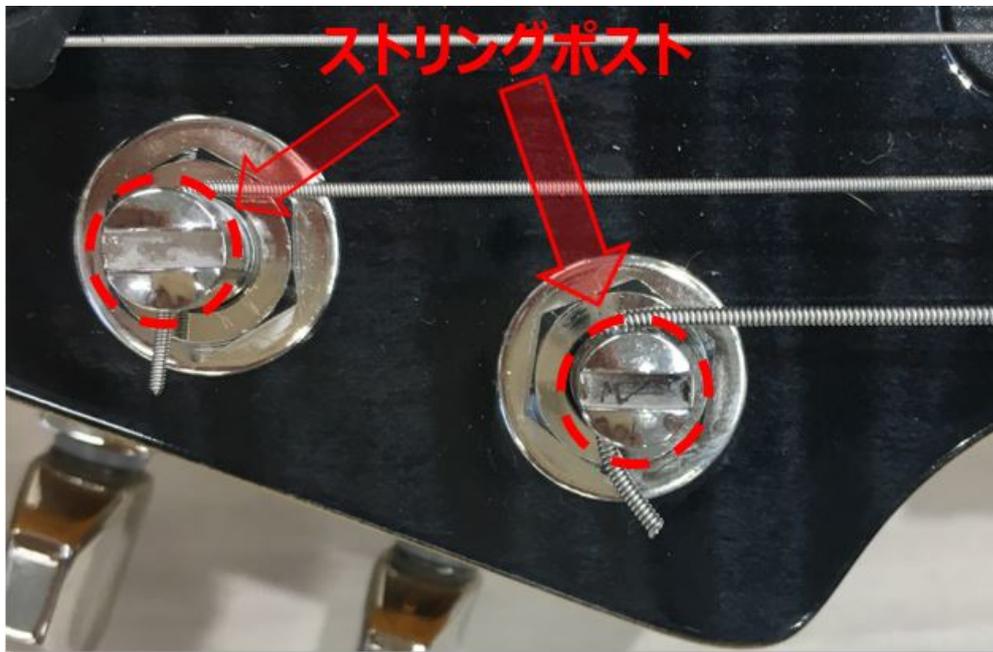
1. ペグをA方向に回して弦を緩めていき、古い弦を取り外します。  
\* 弦の張力が弱くなってくれば、ロックは自動的に解除され弦が外れる状態となります。もしロックが外れない場合は、ストリングポストの溝をコインなどで右（時計回り）に回して緩めてください。

[5弦の場合]



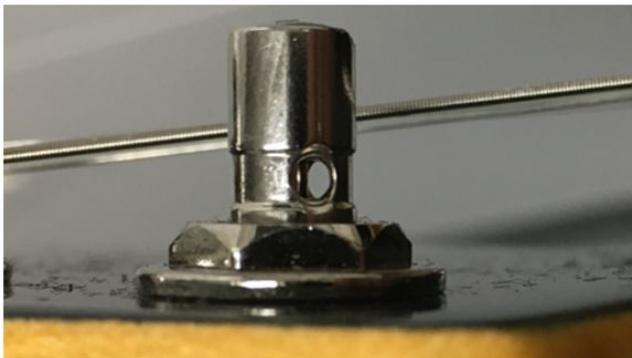
\* スtringポストとはペグをまわすことで、回転し弦が巻き付けられる部分です。





2. ストリングポストを指でつまんで右（時計回り）にゆっくり回し、カチッと手応えのある位置で止めます。

- \* この状態にすることで、ストリングポストの穴が貫通して、弦を通せるようになります。
- \* ストリングポストの穴は、軸中心からズレた位置に通っていますのでご注意ください。



3. ペグを回して、ストリングポストの穴がペグから遠い位置になるように調整し、弦をストリングポストの穴に通します。

[6弦の場合：ネックから見た図]





[6弦の場合：正面から見た図]

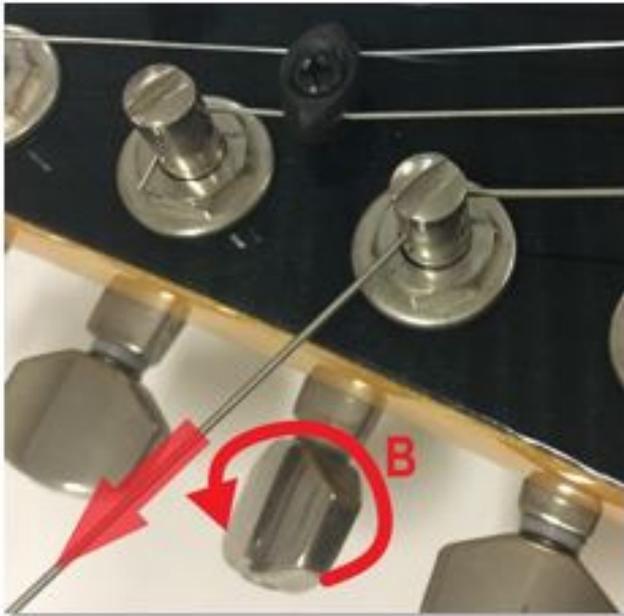


\* 「悪い例」の場合、最悪弦を切ってしまうことになるためご注意ください。

4. 弦が緩まないよう弦の端を引っ張りながら、ペグをB方向に回すと、ストリングポストが空転した後、弦をロックします。

\* スtringポストの溝は、弦を外す際、ペグを緩めてもロックが解除されない場合に、コインなどで緩めるためのものです。ロックを強固にするものではないため、締める意図で回さないようにしてください。弦切れやペグ不具合などの原因になることがあります。





5. 引き続きペグを回して、正しい音程にチューニングします。ストリングポストに弦が1周以上巻き付いていないことを確認し、余った弦は適宜カットをしてください。なお、カット後の弦切り口は下に向け、怪我などの危険がないようにご注意ください。

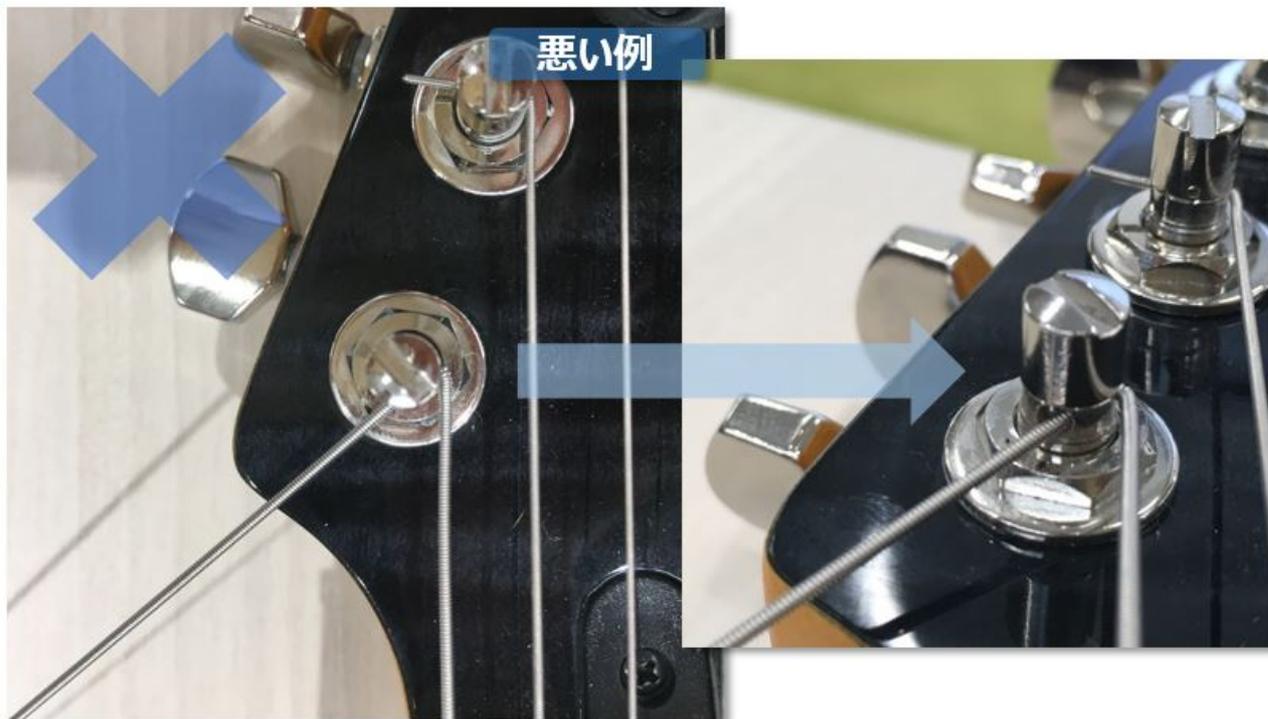
\* 正しく弦が交換されている場合、下記画像のように弦が弧を描く状態になります。



\* 下記画像のように弦が鋭角に曲がるような状態は、弦切れの原因になりますのでご注意ください



さい



■ご参考：Groverロックングチューナーの詳しい弦交換の動画。

### How to Change Strings on an Electric Guitar



このQ&Aは役に立ちましたか？

## アンケートご協力のお願い

ヤマハ楽器・音響製品に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
より充実したサービスを提供するため、皆様のご意見をいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

### ヤマハ楽器・音響製品のサポートに関するアンケート

<http://jp.yamaha.com/sss>

※所要時間は3分程度です。

## このページを見た人は、こちらのQ&Aも見ています。

- 【Pacificaシリーズ】弦高調整とオクターブ調整は？
- 【Pacificaシリーズ】トレモロアームの取付方法
- 【Pacificaシリーズ】スイッチポジションについて
- 【Pacifica 112V】コイルタップスイッチで音はどう変わるのでしょうか？
- 【エレキギター全般】セラミックピックアップとアルニコピックアップの音色の違いは？

## 問題が解決しない場合はこちら

[お問い合わせをする](#)

## カテゴリ

- 楽器
- ギター/ベース/アンプ
- エレキギター/エレキベース

